

## 令和2年度 第3回帯広市社会教育委員会議 議事要旨

1 日 時 令和3年2月17日(水) 書面開催

2 委 員 朝倉 洋一、中山 江里子、福田 茂、阿部 好恵、平田 昌弘、矢野 充、  
鳴海 亮、松田 信幸、池田 健一、出村 行敬、岸田 智子、川岸 仁、  
野原 一行、久保田 博己、石山 隆幸、重田 裕亮、江藤 敏雄、  
廣瀬 有紀、金谷 洋子、村上 博子

(以上20名、敬称略)

3 事務局 生涯学習部長 井上 猛、生涯学習文化課長 石津 邦久、生涯学習文化課  
生涯学習係長 大橋 由幾、生涯学習文化課生涯学習係主任補 東 悠風太、  
生涯学習文化課生涯学習係係員 土田 百花

(以上5名)

### 4 会議次第

- (1) 帯広市岩内自然の村の今後のあり方について
- (2) 令和3年度の予算について(報告)

### 5 議事要旨

- (1) 帯広市岩内自然の村の今後のあり方について

「岩内自然の村の今後のあり方(中間報告)」を参考に、施設の今後のあり方について意見を伺った。意見については以下の通り。

#### ○委員

- ・自然の良さが感じられ、利用者が自主的に活動できる施設を希望する。

#### ○委員

- ・コロナ禍にあって、密にならないアウトドア活動が見直されてきており、身近な使いやすい施設としてPRしてほしい。

#### ○委員

- ・次世代を担う若年層のためにも、災害時への対応など将来を見据えて、自然に親しめる施設の維持提供は必要と考え、存続を希望する。存続にはコストが生じるが、周囲や関係機関の協力を得て、地域の活性化につなげてほしい。

(2) 令和3年度の予算について

教育委員会の令和3年度予算に関し、増額の主な要因として、市内小・中学校や、各施設の整備費増加があげられると説明。意見については以下の通り。

○委員

- ・アイヌ文化に対する予算の充実を願う。
- ・学校図書館に対する予算の充実を願う。

○委員

- ・学校給食について、十勝の基幹産業である農業への理解と促進とあるが、ぜひ具体化して進めてほしい。
- ・文化芸術活動の促進について、地元にある帯広交響楽団や市民オペラ、市民バレエ、邦楽邦舞協会などを活用し、芸術鑑賞の機会を提供してほしい。

以上